

# 会 議 録

会議名	第7回辰野町行財政改革推進委員会		
開催日時	平成25年12月16日(月)午後6時30分～8時30分		
場 所	第6会議室		
出席者 (敬称略)	(委員)中谷道文、福島英雄、小澤晴枝、瀬戸正幸、上島安人、 外戸明、赤羽弘江、山寺はる美、新村清孝、新田敏一 (町)加島範久、武居保男、古村仁士、宮原正尚、一ノ瀬元広、 武井庄治、林国久、中村良治、漆戸芳樹、宮原修二、河手潤子、 一ノ瀬保弘、向山光、飯澤誠、百瀬辰夫、守屋英彦、今福孝枝 (事務局)山田勝己、一ノ瀬敏樹、林美智恵、三浦秀治、殿内 博信	出席人数	
		委 員	10人
欠席者 (敬称略)	(委員)小野清一郎、松田雅次、福島哲治、吉江広光、小澤良 教	事務局	5人
		町	17人
		計	32人
会議次第	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 新委員紹介・会長の選任について 4. 協議事項 (1) 辰野町における中期財政収支見通しについて (2) 平成24年度進捗状況と推進プログラム進行管理について (3) その他 5. その他 6. 閉会		
資 料	(配布資料) 次第、名簿、中期財政収支見通しについて(平成25年度～29年度)、 『辰野町第五次行財政改革大綱推進プログラム』進行管理表		
発言者	発言の内容		
まちづくり 政策課長	役場内部の行財政改革推進組織として、行財政改革推進本部会がごぞいます。町長を本部長、副町長と教育長を副本部長とし、各課の課長補佐以上で組織化しており、庁内を上げて行財政改革を推進しています。本日は各課の課長、都合の悪い課長については課長補佐が出席しておりますので、後程各課についてご質問等いただければお答えいたしますのでよろしくお願いいたします。		
副会長	1. 開 会 みなさんこんばんは。時節柄大変お忙しい中、加島町長を始め町の関係者の皆様が無事開催いただき第7回委員会を開催する運びとなりました。どうか忌憚のない意見をいただき、中身の濃い会にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。		
加島町長	2: 町長あいさつ みなさんこんばんは。寒い日が続いておりますが、皆様お集まりいただきありがとうございます。推進委員の皆様におかれましては、辰野町の行財政改革の推進に関する重要事項をご協議いただき、誠にありがとうございます。第5次行財政改革大綱及び推進プログラムについては平成23年度に策定し、平成27年度までを取り組み期間としており、本年度は丁度中間の年となります。本日は平成24年度の取り組み状況について、行財政改革推進本部会において内部検証を行った結果を報告し、委員の皆様からご意見をお伺いし今後の計画や方針に反映させていく重要な会議となります。行財政改革大綱は町の総合計画を実現するための手段として作成されております。住民と行政の協働のまちづくりにより、住民サービスの向上と行財政の健全化を目指しておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。私も町長に就任したばかりであり予算編成もこれからであります。色々ご意見をいただきまして、ご意見を取り入れた編成を行っていききたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。		
まちづくり 政策課長	3. 新委員紹介・会長の選任について ・新委員：中谷道文議会議員、小野清一郎辰野町区長会会長、瀬戸正幸民生児童委員協議会会長		

まちづくり 政策課長	会長の選任ですが、今まで会長をされていた林善教さん（前民生児童委員協議会会長）が任期満了となりましたので、新たに会長を選任したいと思います。皆様の方でご意見ございますか。
A委員	事務局に案があればお願いします。
まちづくり 政策課長	事務局からお願いをしたいと思います。外戸明さんをお願いしたいと思います。外戸さんにおかれましては、平成16年から本会の委員という事でご協力いただいております。第4次の行財政改革大綱の時から関わっていただいておりますし、行政評価システムの事務事業評価シートの構築にもご協力いただいております、行財政改革に精通しております。
外戸会長	皆様こんばんは。まちづくり政策課長から紹介いただきました外戸と申します。寒いですが、熱い議論をして効果的な会議にしていきたいと思います。不慣れではありますが、皆さんの前向きな議論とスムーズな進行が出来るようお願いしたいと思います。
	4. 協議事項
財政係長	（1）辰野町における中期財政収支見通しについて 毎年作成しこの委員会で報告しています。 資料：中期財政収支見通しについて（平成25年度～29年度） 【補足】①来年は消費税が8%、今後10%に上がる予定ですが歳入では地方消費税交付金また地方交付税についてはどの程度歳入に影響があるか示されていないため見込んではいません。②投資的経費については14億2千2百万円としております。経済対策があるなかで平成24年度からの繰り越し事業が3億円程度ありますので影響しております。
外戸会長	質疑に移ります。ただ黙っているのは会議だとは思いませんので、皆さんご意見をお願いします。
B委員	歳入のその他の項で前年度の表を見ると、平成24年度から26年度まで1億2千万円で推移しています。貸付金3億1千3百万円とありますが、どのようなものでしょうか。
財政係長	金融機関に町からの預託金として貸付を行いまして、各金融機関から企業へ貸付を行っています。今まで予算書に盛り込まれていなかったのですが、平成25年度から予算・決算に載せることになりました。
外戸会長	その他はありますか。よろしいでしょうか。
行財政改革 係長	（2）平成24年度進捗状況と推進プログラム進行管理について 「辰野町第五次行財政改革大綱推進プログラム」につきましては、基本方針として、「毎年度の取組実績及びびローリングによる見直しについては、辰野町行財政改革推進本部会において進行管理を行い、辰野町行財政改革推進委員会に報告し、意見等求めるとともに、その結果を住民に広く公表する。」とされております。 本日、報告をさせていただき、ご意見を伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 24年度の取り組み状況につきましては、5月15日に課長および課長補佐により構成されております行財政改革推進本部会を開催し、6月28日まで進行管理調査を行った結果を事務局において集約の後、3つの部会を8月7日から述べ11回開催し、検証を重ねてまいりました。 先にお配りしました進行管理表の2枚目、「24年度の進捗状況の概要」をご覧ください。具体的方針別の進捗状況でございます。 A～Eの評価達成度のガイドラインにつきましては、今ご覧いただいている左側のページの下の方に記載してございます。 概要のページの中段をご覧ください。24年度につきましては、A評価が56%、B評価が28%で、目標の50%以上を達成した項目が全体の84%になっております。C評価が13%、D評価が1%、E評価が3%でございました。 それでは、C・D・E評価となりました13の項目について、それぞれご説明をさせていただきます。

<p>行財政改革 係長</p>	<p>2ページをお開きください。</p> <p>《2》審議会・委員会・計画策定等への住民の公募制の拡大 でございます 24年度に開催されました委員会・審議会について調査を実施し、その結果に基づいて評価を行いました。各課から公募が可能であると回答がありました審議会等が25ありました。そのうち11の審議会等で公募を実施しており、実施率は44.0%となっております。公募が可能でありながら、公募を実施していない審議会等が半数以上あるということで、判定はCとしました。</p> <p>平成25年度におきましては、11月末現在の状況でございますが、国保運営協議会では公募を実施した結果、1名の応募がありました。環境審議会・辰野病院運営委員会・消防委員会・広報企画委員会・有線テレビ番組審議会におきましても公募を行いましたがお応募者はありませんでした。今後も引き続き改選の時期には公募を実施し、また公募に関する周知方法を工夫していくことが必要です。</p> <p>6ページをお開きください。</p> <p>《5》男女共同参画によるまちづくりの推進 でございます。</p> <p>先ほどの項目2番と同様に委員会・審議会に関する調査を各課に依頼しました。その結果、法令・政令又は条例により設置された委員会・審議会が31あり、そのうち25の審議会で女性委員を登用しておりました。31の審議会の委員総数は364人、うち女性委員は80人で女性の登用率が21.9%という結果となりました。</p> <p>「女性の登用率50%」を目標としておりますので、判定はCとなりました。</p> <p>6ページの教育委員会の実施状況でございますが、教育委員会が県に報告している「審議会等の女性登用の状況」でございます。こちらは、24年度における審議会等総数21、うち女性委員のいる委員会・審議会が18、委員総数237人に対して女性委員が67人、女性登用率28.2%となっております。この点につきましては、25年度分につきましては、調査の段階で整合性を図らなければならないと考えます。</p> <p>この項目につきましても、今後、委員の改選の時期に積極的に女性を登用していくことが重要となります。</p> <p>16ページをお開きください。</p> <p>《13》技術的専門家（テクニカルマイスター）制度の充実 でございます。</p> <p>住民が自分の得意分野を登録し、その技術・知恵・経験を活かしたまちづくり・地域づくりにより、地域活性化を推進するというものでございます。</p> <p>24年度の実施状況は「制度について研究したが制度化にはつながらなかった」ということで、判定はCとなっております。</p> <p>この登録制度については、引き続き制度について検討し、まちづくり・地域づくりに活かしていくことが必要です。</p> <p>17ページをお開きください。</p> <p>《14》職員地区担当制の充実 でございます。</p> <p>地区と行政の結びつき・連携を図るため、地元から地区担当職員を2名選出しました。実際の活動につきましては、区によって温度差があり、今後、活動内容について充実を図る必要があります。</p> <p>18ページをお開きください。</p> <p>《15》地域自主組織活動計画（地域計画）の策定の支援 でございます。</p> <p>「地域計画」については、第4次後期基本計画において「町民と協働した行政運営を行う」ことを目的に策定することが示されております。</p> <p>「協働のまちづくり支援金事業」に取り組むにあたりまして、「地域計画」の策定を推進し、これを優先採択要件にするとしていますが、成果はありませんでした。今後、先ほどの14番の「地区担当職員の活用」も視野に入れながら、総合計画後期基本計画の策定を見据えて地域計画を策定していくことが必要となります。</p>
---------------------	---

<p>行財政改革 係長</p>	<p>22ページをお開きください。      ≪19≫行政手続きのオンライン化の推進 でございます。      ながの電子申請サービスの拡大については、目標値となっている「電子申請の割合36%」の設定が高いため、目標値の見直しが必要という検討結果でございます。また、住基カードの普及についても、国の制度替えや住基カードのあり方が変わる中での普及増は難しいということでございます</p> <p>32ページをお開きください。      ≪29≫小野図書館のあり方の検討 でございます。      貸出実績・利用者数ともに低下している現状であります。担当課としては、町に2つの公共の独立図書館があることは珍しく、辰野図書館の分館にしたいという思いがあるようですが、地元の思い入れが強いこともあり、検討は進んでいない状況でございます。</p> <p>33ページをお開きください。      ≪30≫土づくりセンターのあり方の検討 でございます。      現在、酪農家1軒のみで、業務内容の変更はできない状況となっております。売り上げは横ばいで、事業費のほとんどが修繕費となっております。酪農家(1戸)が辞める時又は機械設備が壊れた時が事業を辞めるときになるという担当課の見解でございます。      また、借地の為、廃止になれば更地にして返す必要があります。25年度中には方向性を出して運営委員会に諮ることになっております。</p> <p>49ページをお開きください。      ≪46≫小・中学校の給食業務の民間委託等への見直し でございます。      辰野中学校給食業務の民間委託については、24年度実施に向けて、23年度民間委託の提案を行い、説明会を実施しましたが、PTAの理解が得られず24年度の実施には至りませんでした。      民間委託については凍結とし、職員の臨時化を継続実施したということで、判定はE(実施の見送り)としました。</p> <p>69ページをお開きください。      ≪66≫手数料・使用料の見直し でございます。      平成24年度は見直しが行われなかったため、判定はDとしました。      使用料につきましては、26年4月からの消費税率の引き上げに伴いまして、現在、上下水道料金の見直しを行っております。また、町の指定管理施設につきましても、契約の相手方との話し合いが進められております。その他町の公共施設の使用料につきましては25年度中に検討のための専門部会を立ち上げ、「見直しの方針及び改定基準」を定め、26年度にはそれぞれ改定を検討していく予定となっております。</p> <p>73ページをお開きください。      ≪70≫町・土地開発公社保有地の企業への売却と進出企業の優遇制度の継続実施 でございます。      ホームページのリニューアルや企業訪問、振興補助金の交付を継続実施しました。また、新たに上辰野地区に桜町造成工事も実施いたしました。      しかし、最重要目標であります「土地開発公社保有地の企業への売却」ができなかったため、判定をCとしました。      この件につきましては、昨年に引き続き、大変精力的に企業誘致活動を行っている状況でございます。</p> <p>75ページをお開きください。      ≪72≫町内への住宅建設に対する優遇制度の検討 でございます。      24年度、人口対策プロジェクト推進委員会を立ち上げ、優遇制度の検討を進めてまいりました。25年度も引き続き検討していくということで、計画を1年ずつ先送りしたので判定をCとしました。      25年度におきましては、推進委員会を開催する中で、人口対策としてどのような取り組みが考えられるかワークショップを実施いたしました。</p>
---------------------	--

行財政改革係長	<p>78ページをお開きください。</p> <p>《75》一般行政職員の削減 でございます。</p> <p>総務課の定員管理については、定員管理計画のとおりに行われていますので判定はAでございます。</p> <p>しかし、実際にはこれ以上人員削減できない状況となっております。定員管理計画の見直しが必要であることから、総合判定をE（計画の変更）としました。</p> <p>以上C判定以下の項目につきまして、判定の結果と25年度の取り組み状況についてご説明させていただきました。</p>
外戸会長	<p>的を絞った提案をありがとうございました。非常に分かりやすかったと思います。質疑の方法ですが、30P、60P、残り最後まで3段階までに分けて質疑を受けたいと思います。その後一括でご質問をいただくようお願いいたします。先ほど最初にご発言いただいた方ありがとうございました。初めに発言いただく方は勇気が要りますので感謝いたします。</p>
赤羽副会長	<p>《5》ですが、国・県においても女性の登用率を上げるように考えています。阿部知事も女性の能力を最大限に生かすようすすめています。昨年長野県に加藤副知事がお見えになった時に長野県の女性登用率が低いと話していました。県は各市町村の登用率を毎年報告するようにしており、目標を30%にしている、満たない場合はホームページで理由を説明する事となっています。辰野町においては、27までに50%にする目標があると思います。31の審議会がありますが、管理する責任者はこの目標を知っているかどうかお聞きしたいです。また、改選の時期に改革しなければ達成できないと思いますのでそこら辺をお願いします。</p>
まちづくり政策課長	<p>各審議会の責任者はこの数字を分かっているかということですが、このプログラムは全庁的に推進しておりますので各課の担当者も理解をしております。理解しているにも関わらず、これしか無いのは心苦しいですが、今の段階では再度周知するしかないと考えています。</p>
加島町長	<p>どうしても過去の流れの中でそれぞれの役に付いている方に入っている方が多いので、そこを見直しからだと思います。女性の中で手を挙げていただく事が一番ですが、そういった方が増えるよう双方で努力する必要があるとは考えております。</p>
外戸会長	<p>質問者納得のようですので、ありがとうございました。他にはいかがですか。</p>
A委員	<p>議事録の公開ですが、教育委員会が公開されておられません。昨年の段階でプライバシーの関係があるので公開できない項目があるにご回答いただき、それは考慮すればと提案しましたが、考慮した結果がこれでしょうか。</p>
教育次長	<p>昨年の段階の事が詳しくわからなくて申し訳ありませんが、教育委員会で行われているものについて、現在の段階ではホームページの公開を始めているものもあります。徐々に改善はされていると思います。</p>
A委員	<p>プライバシーの問題があるのであれば、×でなく「—」などの表記にしなければ、教育委員会だけおかしく受け取られ兼ねないので上手く載せるようお願いいたします。</p>
外戸会長	<p>A委員よろしいでしょうか。それでは他にいかがですか。</p>
C委員	<p>昨年もお聞きしましたが、《14》について地元出身者2名という事は例えば上辰野なら上辰野で2名と違う地区から2名ずつという考え方でよろしいでしょうか。</p>
総務課長	<p>各区に2名ということで、上辰野なら上辰野で2名ということでお願いしています。地元出身者がいなければ担当職員を指名していない区もあります。</p>
C委員	<p>職員との結びつきの部分ですが、区長がいて活動している区ですが、その2名の職員を通じて区からの意見を町へ伝えるのか、区長会などもあるのであえて置く必要が無い気もします。職員が少ない地区もあり置いていない区もあると思います。採用時点で地区を考慮するとそれも問題があると思いますがいかがでしょうか。</p>

総務課長	区は当然区長さんが中心に運営しているので、そこにあえて口を出すのではなく、連絡体制を密にするというか、聞かれたときに相談にのったり連絡調整の役割となります。Cになっていますが、地区計画を町としては策定していただきたいので、そちらの策定に職員が大幅に携わっていただければと思いますので、今後地区担当職員については、見直ししていきたいと思います。
C委員	言いたいことは、地区担当職員2名に負担をかけて良いのかという事で、庁舎で一生懸命仕事を追って、家に帰っても気が休まらないと思いましたがお聞きしました。
加島町長	地区担当は従来の地区担当からもう少し方法を変えようと思っています。それぞれの地区の自主性でどのように考えているのかが第一です。先ほど地区計画の話が出ましたが総合計画の前期の計画が進んでおり、平成28年度からの後期の総合計画へ地区計画を盛り込んでより地域に根差したものにしたいという思いもあります。地区計画を立てるにあたって、必要であれば職員がそこへ行きお手伝い出来ればと思います。それぞれの地区にあった方法をお聞きして進められればと思います。ですので、地区担当制をどのように欲しいかからご意見をいただきながら進めていきたいと思います。まだ深く考えていませんが、職員からも提案を受けながら進めていきたいと思います。
外戸会長	よろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。
D委員	《5》について民児協定数56名中女性が30名でありモデル的なものだと思います。これは推薦委員というカウントになりますか。民児協そのものの数字がカウントすれば良い数字になると思います。
まちづくり政策課長	確かに民生児童委員の女性登用率を入れると上がると思います。
D委員	全県のレベルで落としたのか辰野町独自で落としているのかどうでしょうか。
まちづくり政策課長	こちらでお調べし、ご報告いたします。
外戸会長	他にございますか。
E委員	《9》のまちづくり委員会がA評価になっていますが、会合さえしていればA評価になるのでしょうか。まちづくり委員会を継続していてどのような事がまちづくりに生かされているか教えてください。
まちづくり政策課長補佐	今おっしゃるように活動が見えないというご意見が他からも聞かれた事がありますので、活動内容をもっと積極的にPRしなければいけないと思います。まちづくり委員会も4期をむかえ活発な議論をさせていただいております。一期目に協働のまちづくり指針を策定し町長へも提言しております。こうしたベースとなる協働のまちづくりの考え方もち長野県では進んでいる方であると思っています。それがいかに定着していくのかを検証しているところですが、協働のまちづくりは町民の方と行政がつねに協働の意識を持っていなければ進まないことで、今年度は施策にどのような影響を及ぼすのか検討しているところです。施策は行政の予算を投下すればなしえるものではなく、住民の皆様が主体的に関わっていただかなければ施策が実現できないという視点に立ち、総合計画の1章から紐解きながらすすめているところです。現在は第4期の2年目が終わりますので、町長への提言書をまとめる段階です。更なる協働のまちづくりの在り方について委員の皆様から提言を上げまして来年以降の施策にのし上げていくところです。

E委員	それは分かりますが、以前商工会の女性部の立場で協働のまちづくり成果事例発表会に出していただきました。その時に発表しただけで後何もそこから生まれていないです。後のフォローが出来てなく、形ばかりに行っても何のまちづくりにならないと感じました。25年度に成果発表会をするということですが、それをしたら一つでも良いので何かに繋がっていく事を考えていただかなければ、発展性がないと思います。職員のみなさんはそれで満足しているかもしれませんが、それでは何の発展性も無いと思います。他の項目もそうですがA評価の荒神山のワークショップについても、それで荒神山をどのように持っていか考え方がいくらかでも進歩したのでしょうか。童謡公園もワークショップに参加しましたが、すべてにおいて会合しただけで発展していない現状です。それをどうやって発展させていくのか課長さん方にお聞きしたいと思います。
まちづくり政策課長	まちづくり委員会についてご説明いたします。今年の8月に協働のまちづくり成果発表会を行いました。その中で3名の方から発表いただき、意見を吸収する中で、協働のまちづくりは名前も良くても、どこに聞けば良いのか分からないといったお話しをお伺いしました。今進めているのは協働のまちづくりを進めるためのコーディネーターとして町民サイドで答えられる方の配置を検討しています。拠点となる場所を作るべきだという意見でまちづくり委員会でも話をしています。また違った方向で進められると思います。
建設水道課長	荒神山についてご説明いたします。ワークショップやアンケート調査をする中で町民の皆様からご意見をいただきました。その中で最終的にはこのような荒神山ということでイメージを与えてくれました。その中から今年度この先10年の計画を立てるべく庁内検討委員会で進めるため立上げに向かっていきます。たつの海周回コースの全天候化や遊歩道のご意見も一部来年の予算へ計上しております。生き物ネットの皆さんと一緒に、植物の観察や学習を行った事により役場の職員の認識も高まり、横の連携ができ風通しがよくなったと思います。荒神山の中から色々な事が出来ると考え私も燃えているところです。
産業振興課長	ワークショップの関係で観光に関係する部分でトイレに対するご意見が多かったので、具現化できるか分かりませんが、補助申請をしており、予算化している段階です。
E委員	会合やワークショップをやったら必ず何かをまちづくりの為に拾い出して欲しい
外戸会長	E委員の思いも伝わりましたし課長達の回答も納得しました。
赤羽副会長	《24》事業費が25年度は24年度の1/3になっている理由と《27》《28》《29》についてどこの部署が担当しているのかお聞かせ下さい。
まちづくり政策課長	《27》第一診療所・川島診療所については住民税務課が主体です。《28》小野支所及び川島支所については、総務課と住民税務課で検討しています。《29》小野図書館は教育委員会が主です。何れも地元が絡んでくるので、町としても慎重に進めたいと思っています。将来的には利用者が減ってくれば事業ができなくなる事もありますので、慎重に進めていきたいと思っています。
教育次長	《24》については、各地区に育成会が今までありましたが、辰野町の場合青少年健全育成の各地区で中心となる方として子育て支援マスターが主となり子供会などの活動を実施しています。各地域で行われる行事への町からの事業費と捉えていただければと思います。事業自体は各地区で行っていますが、支援の額が24年に比べて25年度が下がっております。
外戸会長	その他いかがでしょうか。
F委員	《73》土地開発公社が保有している土地は、鋭意努力して企業誘致を進めているとのことですが、どのような内容を実施していますか。それから個人向けの土地がどのくらい残っているかお聞きしたいと思います。

まちづくり 政策課長	土地開発公社の企業用の土地は平成25年度の当初で借地として利用いただくようになりまして、現在は新町工業団地の一区画のみが残っています。そこについては、近くの工場へお貸ししている状況です。他には銀行とタイアップして空き工場の利活用ということで2社ほど入っていただいております。なるべく町内へ企業をという事で活動しております、私も東京事務所へ行きお願いしてきたり、名古屋事務所へ行きまして長野県に進出を考えている企業があれば一番に辰野町をご紹介いただくよう、お願いしてきております。宅地については74ページの24年度をご覧くださいと分かります。桜町、赤羽南、宮所、平出などがあります。今後の予定として、下辰野の新屋敷、上辰野への造成が検討されています。移住定住促進協議会も今後立ち上げますので、そこと連携して進められればと考えています。
F 委員	企業誘致の場合時間的な余裕がなく、出来るだけ早く対応できるところがこれから進出してもらえるとところだと思います。10年先の産業構造を見据えて町として進めていければと思います。個人については、造成の出来そうなどところがあると思いますので、そういうところも進めていただければと思います。
まちづくり 政策課長	一ヶ所追加ですが旧辰野病院の跡地についても、住宅用地として民間と連携して進めていければと思います。どうしても企業の用地を確保したいのですが、遺跡や農振の関係があり土地が手に入らない所もあります。
F 委員	企業からの希望を受けてから動いたのでは今の時代間に合わないと思いますので、そこら辺を是非検討いただければと思います。
外戸会長	以降すべてのページについてご意見いただければと思います。いかがでしょうか。
E 委員	《26》川島小学校のあり方についてですが平成27年度の達成目標に決定実施となっていますが、決定するという考え方で良いのでしょうか。
古村教育長	平成24年度に通学区特例校になっています。25年度は地区外から一人子どもが来ています。来年度から地区外から2名の小学生が入ることとなっています。地区外から来るという事で川島小学校のあり方を教育委員会として決めてあるという意味でここに記載があると認識しております。今後更に色々な問題があれば決定していかなければいけないと思います。
E 委員	この検討は第4次の行革にも載っています。平成18年度に川島小学校のあり方検討委員会ができ、それからずっと検討していて今の考え方なのでしょうか。川島の方で聞いてみましたら、お子様をお持ちの方で少ない人数のところまで教育させたくないとのことで、辰野の街中に家を建てて出てきてしまう方もいます。親は存続に固執していないと思いますが、何故廃校にする事ができないのでしょうか。
古村教育長	通学区特例校の際に地区の方と話しをする中で、こういう形で残してほしいということで今の形になっております。おっしゃるとおり川島地区全員が賛成しているかは分かりませんが、その時の地区代表の会議では今のような話となりました。おっしゃるように出ていく方も何名かおりますので、次の課題だと考えております。さらに地区の皆様と話しを重ねながら次の段階を考えていく必要があると思います。
E 委員	地区と話し合うことは大切ですが、どこかで決定し結論をださなければいけないと思います。行革のプログラムには診療所にしても小野図書館にしても地元の意見を聞きながらということで10年近くきています。地元からすれば残してほしいに決まっているので、それよりも違う方向で考え方を改めて地元への説得を課長の皆様に考えていただきたいと思います。
古村教育長	川島の児童館は人数が減り教育委員会主導でやめた経過もあります。地元の大変な反対はありましたがやめた経過があります。
まちづくり 政策課長	先ほどご指摘された通りで、地元の意見があるところらで白黒決められず、慎重にならざるを得ない状況です。
E 委員	審議が長すぎると思います。
まちづくり政策 課長	地元あつての辰野町ですので、よろしく願います。
外戸会長	長野県は過疎なので、他の事例も見ながら進める事も手だだと思います。



B 委員	学校の問題は難しいと思いますが、診療所や図書館は地元の方が存続を望むのであれば、地元の方にはもっと使っていただき、やめる理由をしっかりと説明しなければ最終的な納得を得られないと思います。あった方が良いのは決まっているので、全体を納得させるなら、しっかりと説明しなければいけないと思います。
A 委員	《34》について、23年度版までの改革プランはいただいておりますが、24年度版の改革プランはいただけますか。
病院事務長補佐	24年度版の改革プランですが、運営委員会などに報告しできております。ホームページに出したと思われませんが、よろしければお出ししたいと思います。
A 委員	是非委員へ配布いただきたいと思います。現在は頑張っただき経営は良いと面もありますが、改革プランと現実の比較検証をどのようにしていますか。例えば1番の患者の確保について、どのようにしていますか。
病院事務長補佐	おかげさまで昨年新病院になり外来の患者さんは増えています。入院についても増えています。医師も手一杯の状況で患者の確保は難しく、現在の医師数ではこれ以上患者が増えても難しい状況です。入院患者については、公立病院の連携をとり伊那中央や諏訪日赤からの紹介患者の受け入れを考えております。
A 委員	例えば医師が何人いれば何人までの患者を診れるかなどの数字の使い方が必要だと思います。そういう数値化したもの提示いただきたいと思います。もう一つ質問ですが、職員の研修についてはいかがでしょうか。
病院事務長補佐	数字の提示については今後考えていきたいと思います。病床稼働率が70%以上無いと厳しいということがあります。先生毎に何人までは分析しておりませんので、今後分析していきたいと思います。職員研修は接遇研修や機能評価の準備段階として毎月アラウンド等をしております。また、今年度看護師がかなり入っていただきました。今までにはない研修として新人一人に看護師一人を付けていますし実習生の指導するものとしての講習にも行かしておりますし、順次研修は行っていく予定です。人事評価の件につきましても現在分科会を開きシート作成をしており、来年の4月から出来るようになっていきます。
A 委員	今の職員研修の中には患者さんへのサービスも含まれると思いますが、先だっこの新聞を見ると満足度が80%とのことですが、80%は決してよくなくサービス産業で一流と言われるのは90%以上です。そこらへんをよく考えて数値目標を持って、現在の患者が増えている要因も掴み分析しておかなければ、これば自然に低下してしまうと思います。その辺を把握し改革プランを進めていただきたいと思います。
病院事務長補佐	今後努力してまいります。
G 委員	《30》については、方法を早く見出していただきたいと思います。行政改革大綱の中にありましたので、早い段階で方向を出して進めていく事が良いと思います。地域との約束や現状の堆肥の持ち込み状況などあり難しい状況のようですが、これを見ると27年までに廃止かどうか検討することになってはいますが、できるだけ早く方向を出していただきたいと思います。自分も担当ですので言えた義理ではないですが、お願いします。
産業振興課長	土づくりセンターですが、今お話のあったとおりです。堆肥の需要は多いです。センターが続けられるうちは出来るだけ続けていきたいと思いますが、酪農のお宅ですが、そこの方が出来なくなった場合や機械類の大規模な故障があった場合は、廃止をせざるを得ない状況です。酪農家の方も一時体調が悪かった訳ですが、回復しまして、牛を増やしていきたいといった希望もありますので、その辺の話を詰めているところです。それぞれの方が良い方向で進めていきたいと思います。
外戸会長	朝日新聞経済面に書いてありました。病院の改善として手術時間が半分になった。待ち時間が改善によって1/3になったという大見出しで書いてありました。また新聞を渡します。他はいかがでしょうか。

A委員	<p>《59》これは大変良いことだと思います。この考え方を全職域に広めていただきたいと思います。特に病院については改善の余地が多いので進めていただきたいと思います。</p> <p>それから相対的な文言について検討するのがほとんどですが、期限を付けていただきたいと思います。何時までに検討してどういう結論を出すのか、そうでなければ言っぱなしになると思います。</p>
外戸会長	他にありますか。
C委員	戻りますが、病院の関係で病床の稼働率は70%を超えて良いと思いますが、科別の診療単価は旧病院と比べどうなっていますか。
病院事務長補佐	一人あたりの単価は昨年とあまり変わっていませんが、科別に比べると画像診断があるところなどは高いです。
C委員	診療報酬は下がっていますか。
病院事務長補佐	昨年度相対的には、上がったといいますが、実際にはそうではありません。来年の4月に診療報酬が変わると思いますのでそちらについても注視しているところです。
C委員	出来るだけ診療単価を上げるようお願いします。
外戸会長	他はいかがですか。
B委員	<p>《46》小学校の給食業務についてですが、これがPTAに説明した段階で協議をされ出来ないとなっていると思いますが、これに関して業者へ委託すればどのようなメリットがあるか、費用的にどれだけの改善があるか分かりますか。</p>
教育次長	当初民間委託と臨時化で答申いただいております。民間委託で色々と計算したところ人件費が主ですが、民間委託にした方が下がるといった結果が出ました。それは正職員と比較してというのが主ではありますが。その後再計算したところ、そこまでの違いが出なかった状況です。ですから当初の段階では人件費の部分で委託に出した方が優位になるだろうという事でありました。
B委員	現状では業者へ委託するメリットはないということでしょうか。
教育次長	金額面でいけばそうなります。業者をお願いする場合には施設改修なども必要になってくるので、そういった物を計算の積み上げに入れていくとどうかなというところでは。
B委員	ということであれば、この計画についてはここに載せておく必要はないとおもいますがいかがですか。
古村教育長	もう一つ臨時化は進めなければと思います。答申の二項目のうちの一つは生きているということです。
B委員	現状でメリットは無く、業者委託することによって返って経費がかさむという話でしたので、それであればどんどん臨時化で進められればと思います。そうなれば大きな目標では無くなると思います。
外戸会長	今までの倍以上の意見・発言をいただいております。他にはいかがでしょうか。
赤羽副会長	関連ですが、経費において臨時化を進める事によってクリアしているのでこの項目は削除が良いのではないのでしょうか。自校給食の良さもあると思いますが、経費だけのことを考えてこの項目を載せたのであれば削除でよいと思います。
住民税務課長	臨時化を進めると、臨時職員を何歳まで何年間雇用するかの問題もあります。民間企業であれば雇止めがあります。給食調理のスキルや衛生管理について正規職員と同様の知識、経験、責任を持ってもらわなければいけないのは当前ですが、そういったものの管理監督あるいは職員同士の継承は正規職員がいない職場においては難しい状況です。その辺について以前の凍結した段階では今後の在り方について新たに検討するという締めくくりになっております。民間委託は大きく取り上げられますが、実際にはこれ以外にも検討する課題は多くあります。
H委員	学校給食についてですが、費用対効果の面だけでなく子ども達の食に対して、自校給食であれば地元食材の使用ができると思います。大きな会社に委託するとそれが出来るかも心配ですので、財政面だけでなくそこも考慮いただきたいと思います。

古村教育長	委託した場合も今の栄養士がそのまま続けます。地産地消も栄養計算も食育に関することもほとんど変わりなく出来ると思います。
住民税務課長	せっかくの機会ですから補足させていただきます。給食費をいただいておりますが、給食費で食材を調達しております。それは民間委託でも同じ仕組みですので、町の費用をかけて調理員を雇い、設備・機材の改修や更新をする事は税金で賄っています。その人の部分的だけを民間でやるのか臨時でやるのか正規でやるのかという違いです。給食費で食材を買いますし、先ほど教育長から話をした通り変わらないという事です。栄養士が献立を作り食材の調達をしますのです、その一番大事なところは変わらないです。
H委員	そういう事であれば、保護者が心配していることはそれもあると思いますので、今話をしたようなことを保護者へきちんと説明していけば進むと思います。
E委員	皆さん分かっていないと思います。民間委託がどこかで作ってきたものを配食するイメージがあると思います。
古村教育長	説明会でも何度も説明申し上げたのですが。
住民税務課長	P T Aの皆様にもなかなか理解を得られませんでした。
E委員	町民の皆さんも分かっている方が少ないと思います。
外戸会長	進めます。他にはいかがですか。
赤羽副会長	先ほど質問した《24》ですが、疑問に残った部分があります。金額が急激に変わっていますが、各部落への補助金の金額だと思えます。下辰野の場合は町からの補助金と一戸200円ずつを集め青少年育成会を運営しております。これだけ急激に金額が減ってしまうと、今までの事業が出来なくなると思えます。今回は急激な減少理由をお答えいただきたいと思えます。
行財政改革係長	今の項目につきましては、教育委員会から上がってきた数値を再度確認し、ご連絡申し上げます。
外戸会長	よろしいでしょうか。検討課題などありますが、お認めいただいたということによろしいでしょうか。
	一同承認
行財政改革係長	(3) その他 今後のこの会の在り方ですが、本年度この会を持ったのがこの時期となっております。先日議会でもスピーディーにという話も出ていましたが、やはりこのタイミングが遅いかなと思っております。来年は少しでも早いタイミングでこの会が開催できるように努めていきたいと思えます。また、本日の会議の結果や本日お示した進行管理表などはホームページへ公表していきたいと思えます。
外戸会長	皆さんのご協力により、密度の濃い議論ができました。ありがとうございました。
まちづくり政策課長	外戸会長にはスムーズな進行をありがとうございました。お陰様で熱のある議論になりましたありがとうございました。
赤羽副会長	6. 閉会 長時間にわたっての審議本当にお疲れさまでした。一朝一夕には解決できない問題も多いですが、知恵を出し合って少しでも住みやすい辰野町になることを願いました本日の会議を閉じたいと思えます。本日はありがとうございました。